



旧リリースからの Cisco Unified MeetingPlace Express のアップグレード

- [アップグレードの準備、4-2 ページ](#)
- [アップグレードの実行、4-4 ページ](#)
- [アップグレード後のシステムの設定、4-7 ページ](#)

パッチとは製品に対するマイナーな変更で、アップグレードとは製品の大幅な機能拡張のことです。シスコシステムズでは、必要に応じて Cisco Unified MeetingPlace Express システムの追加のアップグレードやパッチを配信しています。これらは Cisco.com から入手できます。

アプリケーションのアップグレードまたはパッチをインストールする際、既存のアプリケーションファイルはバックアップ ディレクトリに移され、新しいアプリケーション ファイルが現在のディレクトリにインストールされます。このファイルの移動により、必要に応じてアップグレードやパッチをアンインストールできます。

アップグレードの準備

システムをアップグレードする前に、前提条件をすべて満たし、すべての手順を実行します。システムをアップグレードする場合、オペレーティングシステムとアプリケーションをアンインストールする必要がないことに注意してください。

- [前提条件、4-2 ページ](#)
- [システム言語を英語に変更、4-2 ページ](#)
- [SSL 証明書のバックアップ、4-3 ページ](#)

前提条件

- アップグレードは、必ずシステムの稼働中に行います。Cisco Unified MeetingPlace Express サービスは停止しないでください。
- 旧リリースから Release 2.0 にアップグレードする場合、Release 1.2 がシステムにインストールされている必要があります。Release 1.1 から Release 2.0 にアップグレードする場合は、はじめに Release 1.2 にアップグレードする必要があります。
- システムで Segmented Meeting Access (SMA) が有効になっている場合は、無効にします。この方法については、『[Cisco Unified MeetingPlace Express コンフィギュレーション メンテナンス ガイド Release 2.0](#)』を参照してください。
- システムを Release 2.0 にアップグレードすると、アップグレード後のシステムは自動的にプライマリ サーバになります。SMA、およびプライマリ サーバとセカンダリ サーバが連携する仕組みについては、『[Cisco Unified MeetingPlace Express コンフィギュレーション メンテナンス ガイド Release 2.0](#)』を参照してください。

システム言語を英語に変更

システムを Cisco Unified MeetingPlace Express Release 2.0 にアップグレードする前に、システム全体のデフォルトの言語を英語に設定し、それ以外のすべての言語を無効にする必要があります。この操作を行わないとアップグレードを続行できず、エラー メッセージが表示されます。

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified MeetingPlace Express にログインして、**[Administration]** をクリックします。
 - ステップ 2** **[System Configuration]**、**[Usage Configuration]** の順にクリックします。
 - ステップ 3** **[Usage Configuration]** ページで、次を実行します。
 - a.** **[Language 1]** フィールドを **[English (US)]** または **[English (UK)]** に設定します。
 - b.** (オプション) **[Language 2]** フィールドを **[English (US)]**、**[English (UK)]**、または **[None]** に設定します。
 - c.** (オプション) 他のすべての言語フィールドを **[None]** に設定します。
 - ステップ 4** **[Save]** をクリックします。
-

SSL 証明書のバックアップ

システムをアップグレードする前に、SSL 証明書をバックアップする必要があります。Cisco Unified MeetingPlace Express アプリケーションをアップグレードまたは再インストールする際、これらのファイルは保持されますが、アップグレードまたは再インストールの完了後にファイルをリストアする必要があります。

オペレーティングシステムをアップグレードまたは再インストールする場合、これらのファイルは保持されません。現在の証明書とキー ファイルは、オペレーティング システムのアップグレードまたはインストールを行わずに Cisco Unified MeetingPlace Express アプリケーションのアップグレードまたは再インストールを行う場合にのみ保持されます。



注意

完全インストールにはオペレーティング システムが含まれるので、新規（完全）インストールを実行する場合には、SSL 証明書とキー ファイルはすべて失われます。この場合、新しい証明書を購入する必要がありますので、かなりのコストが発生します。

手順

- ステップ 1** Cisco Unified MeetingPlace Express にログインして、**[Administration]** をクリックします。
- ステップ 2** **[Certificate Management]**、**[Back Up SSL Configuration]** の順にクリックします。
- ステップ 3** バックアップする証明書を選択して、**[Back up Certificate]** をクリックします。
- ステップ 4** **[Save]** をクリックして、SSL 設定を zip ファイルで保存します。

アップグレードの実行

新しくシステムをインストールする場合と同様に、アプリケーションのアップグレードまたはパッチのインストールを行います。アプリケーションのアップグレードまたはパッチは、コンソールまたは SSH を使用してインストールできます。



注意

アップグレードをインストールするために十分なディスクスペースがないというメッセージが、システムに表示されることがあります。この理由として、サーバに旧リリースが多数あるということがあります。システムのディスクスペースを開放する方法については、Cisco TAC に問い合わせてください。Cisco TAC に問い合わせる方法については、「[技術情報の入手方法、サポートの問い合わせ、およびセキュリティ ガイドライン](#)」、ix ページを参照してください。

- [コンソールを使用したアップグレードまたはパッチのインストール、4-4 ページ](#)
- [リモートでのアップグレードまたはパッチのインストール、4-5 ページ](#)

コンソールを使用したアップグレードまたはパッチのインストール

コンソールを使用してアップグレードまたはパッチをインストールするには、次の手順を実行します。特に明記していない限り、すべての手順がアップグレードにもパッチにも適用されます。

手順

- ステップ 1** Cisco.com にアクセスし、アップグレード ファイルまたはパッチ ファイルを検索します。ファイル名は、patch_mpe_1_1_1.bin や upgrade_mpe_1_2.bin のように表記されています。
- ステップ 2** 該当するファイルを適切な場所に保存します。
- ステップ 3** コンソールから Cisco Unified MeetingPlace Express オペレーティング システムのログイン ページに進み、root ユーザとしてログインします。



(注) コンソールへのログイン方法の詳細については、『[Cisco Unified MeetingPlace Express コンフィギュレーションメンテナン ス ガイド Release 2.0](#)』を参照してください。

- ステップ 4** デスクトップで右クリックし、[New Terminal] をクリックします。この操作により、コマンドラインが表示されます。
- ステップ 5** アップグレード ファイルまたはパッチ ファイルを保存したディレクトリに移動します。
- ステップ 6** `sh patch_mpe_1_1_1.bin &` と入力し、このプログラムを実行します。インストール画面に初期ページが表示されます。



(注) patch_mpe_1_1_1.bin は一例です。実際には、使用するアップグレード ファイルまたはパッチ ファイルの名前を入力してください。

- ステップ 7** [Next] をクリックします。
- ステップ 8** アップグレードの場合のみ : [Upgrade Available] ダイアログボックスが表示され、以前のバージョンの Cisco Unified MeetingPlace Express がインストールされているかどうかチェックされます。以前のバージョンの Cisco Unified MeetingPlace Express が検出された場合、その旨を示すメッセージが表示されます。[Upgrade] をクリックしてアップグレードを開始します。
- ステップ 9** Cisco Unified MeetingPlace Express インストーラによりライセンス契約が表示されます。ライセンス契約内容を確認したら、[I accept the terms of the License Agreement] を選択し、[Next] をクリックします。
- ステップ 10** インストール前の主要項目を確認します。具体的には、製品名、インストール フォルダ、インストール先に必要なディスク スペースなどの値です。
- ステップ 11** すべての値が適切な場合、[Install] をクリックします。

Cisco Unified MeetingPlace Express インストーラにより、Cisco Unified MeetingPlace Express のアップグレードまたはパッチがインストールされます。

アップグレードまたはパッチが完了すると、Cisco Unified MeetingPlace Express インストーラにより [Install Complete] ページが表示され、アップグレードまたはパッチのインストールの完了メッセージが表示されます。

リモートでのアップグレードまたはパッチのインストール

SSH を使用して、Cisco Unified MeetingPlace Express アプリケーションのアップグレードまたはパッチをインストールするには、次の手順を実行します。特に明記していない限り、すべての手順がアップグレードにもパッチにも適用されます。

手順

- ステップ 1** Cisco.com にアクセスし、アップグレード ファイルまたはパッチ ファイルを検索します。ファイル名は、patch_mpe_1_1_1.bin や upgrade_mpe_1_2.bin のように表記されています。
- ステップ 2** 該当するファイルを適切なローカルの場所に保存します。
- ステップ 3** SSH クライアントを使用して、mpxadmin ユーザとしてログインします。



(注) SSH を使用する際のログイン方法の詳細については、『[Cisco Unified MeetingPlace Express コンフィギュレーション メンテナンス ガイド Release 2.0](#)』を参照してください。

- ステップ 4** su - と入力して root ユーザに切り替え、root パスワードを入力します。
- ステップ 5** SCP ファイル転送を使用して、アップグレード ファイルまたはパッチ ファイルを Cisco Unified MeetingPlace Express に転送します。
- ステップ 6** CLI から、アップグレード ファイルまたはパッチ ファイルを保存したディレクトリに移動します。

■ アップグレードの実行

ステップ7 アップグレードプロセスを開始するには、`sh ./patch_mpe_1_1_1.bin -i console` と入力します。



(注) `patch_mpe_1_1_1.bin` は一例です。実際には、使用するアップグレードファイルまたはパッチファイルの名前を入力してください。

ステップ8 インストーラにより初期メッセージが表示されます。**Enter** キーを押して続行します。

ステップ9 アップグレードの場合のみ:以前のバージョンの Cisco Unified MeetingPlace Express がインストールされているかどうかチェックされます。以前のバージョンの Cisco Unified MeetingPlace Express が検出された場合、その旨を示すメッセージが表示されます。**Enter** キーを押してアップグレードを開始します。

ステップ10 インストーラによりライセンス契約が表示されます。ライセンス契約内容を確認したら、**Enter** キーを押して **[I accept the terms of the License Agreement]** を選択します。

ステップ11 インストール前の主要項目を確認します。具体的には、製品名、インストール フォルダ、インストール先に必要なディスク スペースなどの値です。すべての値が適切な場合、**Enter** キーを押してインストールを開始します。

Cisco Unified MeetingPlace Express インストーラにより、Cisco Unified MeetingPlace Express のアップグレードまたはパッチがインストールされます。

アップグレードまたはパッチが完了すると、Cisco Unified MeetingPlace Express インストーラにより **[Install Complete]** ページが表示され、アップグレードまたはパッチのインストールの完了メッセージが表示されます。

アップグレード後のシステムの設定

- [SSL 設定のリストア](#)、4-7 ページ
- [PIN に対応する電話プロファイルのパスワードのアップグレード](#)、4-7 ページ
- [新しいライセンスの取得](#)、4-8 ページ
- [電子メール通知テンプレートのカスタマイズ](#)、4-8 ページ

SSL 設定のリストア

この項は、アップグレード前から SSL を有効にしていたシステムのみにも適用されます。

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified MeetingPlace Express にログインして、**[Administration]** をクリックします。
 - ステップ 2** **[Certificate Management]**、**[Restore SSL Configuration]** の順にクリックします。
 - ステップ 3** アーカイブしたバックアップ ファイルの名前を入力します。
 - ステップ 4** **[Restore SSL Configuration]** をクリックします。
-

PIN に対応する電話プロファイルのパスワードのアップグレード

Cisco Unified MeetingPlace Express Release 1.1.1 以前から Release 2.0 にアップグレードする場合は、すべてのエンドユーザが自分の PIN に対応する電話プロファイルのパスワードを変更する必要があります。エンドユーザは必ず次の手順を実行してください。

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager (旧名称 Cisco Unified CallManager) にログインします。
 - ステップ 2** **[Feature]** > **[Cisco IP Phone Services]** を選択します。
 - ステップ 3** Cisco Unified MeetingPlace Express サーバを検索し、下線の付いている名前をクリックします。
 - ステップ 4** **[Parameters]** で wpassword を強調表示し、**[Edit]** をクリックします。
 - ステップ 5** **[Default Value]** で、PIN を入力します。
 - ステップ 6** **[Update and Close]** をクリックします。
 - ステップ 7** **[Update Subscriptions]** をクリックします。
-

新しいライセンスの取得

Cisco Unified MeetingPlace Express の旧リリースから Release 2.0 にアップグレードする場合、適切なアップグレードライセンスをインストールする必要があります。Cisco Unified MeetingPlace Express の旧リリースのライセンスの多くは、Release 2.0 では使用できません。

ライセンスの購入方法、インストール方法、および使用方法の詳細については、『[Cisco Unified MeetingPlace Express コンフィギュレーションメンテナンスガイド Release 2.0](#)』を参照してください。

電子メール通知テンプレートのカスタマイズ

システムをアップグレードすると、カスタマイズ済みの電子メール通知テンプレートがすべて、インストールにより上書きされ、標準テンプレートに置き換えられます。

電子メール通知テンプレートのカスタマイズ方法の詳細については、『[Cisco Unified MeetingPlace Express コンフィギュレーションメンテナンスガイド Release 2.0](#)』を参照してください。